



『2月のつどい』は東区で開催しました



2月の「つどい」は2月20日(木)東区民センターで20名の参加をいただき開催しました。

「ちょこっと学習会」は、東徳洲会病院看護師長の石塚様より、「感染予防のコツ」について説明いただきました。コロナウイルス、インフルエンザ、ノロウイルス性胃腸炎が、この冬猛威を振るいました。感染経路は、飛沫、接触、エアロゾル(飛沫感染の一種)の3つ。主な対策は、ワクチン接種、早めの受診、咳エチケット、環境表面消毒、流行状況の確認などです。インフルエンザは合併症の肺炎に注意。また、表面にウイルスが付きやすい携帯電話は取り扱いに注意が必要とのお話でした。

その後のいつもの語り合いでの皆さんの発言概要は、以下のとおりです。

❖80代要介護1の母を介護 娘

ひとり暮らしで日常生活は何とかできていますが、物取られ妄想が強く戸惑っています。泥棒が入ってきて引出しを開けたとか、お財布がないなど、対策で鍵を変えたりもしました。本人はストレスからか、最近施設に入れてほしいと言うこともあり、どうしたらよいのか悩んでいます。

❖会員から

物取られ妄想は、自分を守ろうとして悪いのは他人のせいにする事で、周りの人が理解しないと難しい症状です。施設に入っても続くこともあります。他の楽しみとか気分転換的な対応も必要かなと思います。

❖90代母と妻を介護 夫

母はグループホーム、妻は老健入所中です。自分が脳梗塞で半身不随のため、妻の面倒を見られなくなり施設に入れてしまい、辛い立場です。多数の病院通い要支援1ですが、介護サービスを受けないでがんばっています。

❖要介護2の妻を介護 夫

妻は数年前に認知症を発症、昨年より精神病院に入院中です。被害妄想、徘徊、心の変動が大きく、私が耐えられず入院させました。入院後、薬の影響か何もできなくなり車椅子です。切なく罪悪感を持っています。自分も介護保険を受けるように先生から言われていますが、悩みながら自分で食事を作っています。

❖会員から

男性は介護で頑張り過ぎてしまう傾向があります。

今は休む時期と捉えて、今後のことを考えてはどうでしょうか。それは、介護を受ける人のためにもなります。一人で抱え込まず、介護サービスを使うことも考えたらいいかと思います。

❖会員から

男性は自分を責めたり罪悪感を持ったりすることが多いですが、そんなことする必要ありません。一生懸命家族が介護した結果、皆に助けってもらうことも必要です。共に生きていかなきゃならないのだから。辛さは人それぞれ違うし、比べてもダメなんだけれど、家族の会の経験を持った人と話をすることが参考になると思います。

❖会員から

奥様の病院があっていないこともあり得ます。私の経験から、ちゃんと認知症を見てくれるところを見つける、もっといい方法があると前を向いて探してみることも必要ではないでしょうか。

❖要介護1実母と3の義理の母を介護 娘

母は2年前から認知症で、器用な人でしたが、何もしなくなりました。過去、物取られ妄想もありましたが、今はデイサービスに通っています。最近困っているのは、毎日大量のお米を研ぎ続けていることです。義母は認知症ではないですが、施設入居後も自由を求めてずっと愚痴を言っています。自分の生活もあり大変です。

❖会員から

デイサービスやグループホームでは、役割を決めて、できることをやってもらうよう対応しているところもあります。お母様のお米研ぎの問題を一度相談してみてもいいかがでしょうか。

3月のつどいご案内

【とき】 2025年3月21日(金) 13:30~15:30

【ところ】 清田区役所 3階 中会議室(清田区平岡1条1丁目2-1)

【最寄り駅】 中央バス「清田区役所」下車 徒歩1分

【問い合わせ】 家族の会事務局 ☎281-2969(火・水)

※4月の「つどい」はかでの2.7で4月24日(木)に開催予定です。

ちょこっと学習会テーマは「日常生活自立支援事業」の予定です。

